

◎クルマの審査官になりませんか！？～自動車認証審査部正職員採用～

【国内唯一の国交省指定の認証審査機関でメーカーでの設計／開発の経験を活かしてみませんか？？】

自動車認証審査部では、これから販売される自動車が、国の定めた安全・環境基準に適合しているか、書面や現物の車両により審査しています。そのため、国産車、輸入車問わず、多くのメーカーの販売前の車両に触れることができます。



採用後は、各業務を担当するチームに配属され、各種研修やOJTなど行いながら、審査官として必要なスキルを身に付けていきます。

子育て世代も多く、チーム内でフォローする雰囲気があります。また、ワークライフバランスの実現が図られており、女性も活躍している職場です。

主たる勤務地：東京都調布市
 勤務日時：完全週休2日制(土日祝休日)、9:00～17:45(実働7時間45分)
 給与：国家公務員に準拠(各種手当て有り)
 ※昇給／年1回 賞与／年2回

【1週間のお仕事(例)】

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
AM	メーカーと申請内容の打ち合わせ 書面審査	メーカーと申請内容の打ち合わせ 書面審査	(出張)認証試験	(出張)認証試験	書面審査	休み	
PM	チーム内会議 書面審査	(外勤)技術会議	"	"	書面審査		

【審査業務のご紹介】

排出ガス・燃費担当チーム

排出ガスの低減性能や燃費に関する性能評価を行います。



定地担当チーム

ブレーキ性能や騒音など走行に関する性能評価を行います。



衝突担当チーム

衝突時の乗員保護、座席の堅牢性などの衝突安全に関する性能評価を行います。



車両担当チーム

寸法・重量などの基本構造や灯火などの各種装置に関する性能評価を行います。



これらのほか、自動運転車、サイバーセキュリティについての審査も行っております。

【国の基準策定への技術支援】

安全・環境基準の国際的な調和を議論する国連の会議に国土交通省とともに参加することで、基準策定の支援を行っています。



【職員コメント】

車が好きの人、空いた時間に調べ物をして新しい知識を得ようとする人、人と話すのが好きな人には向いている職場だと思います。また、業務において何か判断に迷うことやその他悩むことがあれば相談しあう習慣があり、働きやすい職場だと思います。一緒に日本の未来の車を審査しましょう！



在職10年目(男性39歳)
前職：自動車メーカー

車社会の安全確保と環境保全、そして健全な発展のために～

現代社会において、自動車は、国民の生活に必要不可欠な移動・輸送手段となっています。一方で、毎年約3千人の方が交通事故によりお亡くなりになっており、日本における二酸化炭素排出量の約15%が自動車から排出されているといった状況にあります。自動車の利便性を引き続き享受していくには、自動車の安全性能や環境性能を向上させることは極めて重要な課題です。



交通安全環境研究所自動車認証審査部は、「安全で環境にやさしい交通社会の実現に貢献する」という自動車技術総合機構の基本理念の下で、自動車がユーザーに販売される前に、安全・環境性能が国が定める基準に適合しているかどうか、実車試験や書面審査により確認するといった審査業務を行っています。

さらに、近年、高齢者の移動手段の確保や事故防止の観点から、運転支援技術や自動運転車への関心が高まっています。また、カーボンニュートラルの実現に向けた車の電動化の加速も求められています。このような社会的課題に対応するためには、関連する技術・自動車の市場への導入が円滑に進み、社会に受け容れられる環境を整備することも重要な要素の一つとなります。

そのために、自動車認証審査部では、様々な運転支援技術を搭載した自動車や自動運転車、電動車などについて確実に審査を行うことに加え、審査業務で培った知見を活かして、国内での基準導入に係る議論や国際会議へ参加することにより、国が行う安全基準の作成業務や基準の国際調和活動への支援・協力も行っています。

現在、自動車を取り巻く環境は、100年に一度の変革期にあると言われており、今後、自動車の形や使われ方は大きく変化していくと予想されています。しかしながら、自動車自体は、今後も引き続き生活を支える移動・輸送手段として欠かせないものであり、自動車認証審査部が担う自動車の安全確保と環境保全への貢献という役割は、ますます社会的に重要なものとなっていくと考えています。

あなたも、自動車認証審査官となって、車社会の安全確保と環境保全、そして将来の車社会の健全な発展に貢献しませんか。

自動車認証審査部長 小磯 和子

【お問い合わせ先】

(独)自動車技術総合機構 交通安全環境研究所
自動車認証審査部 採用窓口
TEL: 0422-41-3419 / E-mail: saiyo@ntsel.go.jp